

新年のごあいさつ

日光市長 斎藤文夫



市民の皆さまのご協力に、改めて感謝申し上げます。さて、平成25年を振り返りますと、9月7日に開催された国際オリンピック委員会総会で、2020年のオリンピック・パラリンピック競技大会開催都市が東京に決定したことが、日本中に元気を与えてくれました。

新年、明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

私は、平成18年4月の市長就任以来、「まちづくりの主役は市民(あなた)で

す」市民の皆さまに仕えることが私の仕事です」という二つの基本理念のもと、「住んでよかったです」「これからも住み続けたい」と心から思っていただけのよう全力を傾注し、市政経営に取り組んでまいりました。

この8年間を振り返り、さくらには国際観光文化都市日光のすばらしさを改めて世界に発信できる機会と捉えております。

日光市においては、私が市政運営の基本戦略として掲げた「日光創新」の重点项目「子ども・子

育て支援」「観光躍進」「暮らし安心」「産業復興・経済活性化」「ひとつづくり」の各施策を着実に実施してまいりました。

特に「子育て支援」については、平成25年4月診療分から、中学3年生までの子さんの保険適用分医療費の窓口支払いが不要となる現物給付方式の適用を、市内医療機関から県内医療機関にまで拡大しました。

これらの地域の強みを今まで検証し、他に負けないものを創造することで、都域資源に恵まれています。

その具体的アクションの一つが日光ブランド認定制度です。この制度により、市内に点在するさまざまな資源を日光ブランドとして認定し、広く世界に発信することで日光市のイメージを高め、地域の活性化を図つてまいります。

私は、これからも日光市の都市としての魅力を高め、今後も輝き続けるられるよう、市民の皆さまと一緒に、まちづくりに全力で取り組んでまいりますので、なお一層のご支援、ご協力ををお願いいたします。

結びに、平成26年が市民の皆さまにとって、実り多い年となりますことを祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきま



平成25年 日光市の主な出来事



- ①各町が協力しながら花家体を進める様子に、観客から声援が上がりました。
- ②足尾に春を告げる伝統行事。色とりどりの衣装で踊りました。
- ③地元住民や小学生が武者や女武者・弓侍に、一般女性が姫に扮して行列が行われました。
- ④5年ぶりに女樽神輿が復活し、会場は大きく沸き上りました。
- ⑤今年で100周年を迎えた、多くの踊り手が参加しました。
- ⑥庁舎の老朽化に伴い新庁舎に移転しました。
- ⑦台風18号の影響により、大雨となりましたが、1,146人が参加しました。

12月20日～23日

11月21日～24日

10月20日～29日

9月7日～16日

8月2日～5日

7月26日～28日

6月5日～6日

5月3日～13日

4月1日～13日

3月21日～26日

2月8日～12日

1月13日～26日

まぐら祭

日光キヤンドル

ページェント2013

原動機付自転車の市ご当地ナンバーの交付が開始

霧降高原キスゲ平園地が

オーブン

足尾まつり(②)

高円宮牌2013

龍王祭(④)

日光和楽踊り100周年(⑤)

日光杉並木マラソン大会

足尾総合支所・足尾公民館・日光消防署足尾分署

が移転(⑥)

今市屋台まつり

日光けつこうフェスティバル

市政・教育功労等表彰式

日光杯全日本女子

中学・高校生アイスホッ

ケー大会

(⑦)